

下水道施設の包括的管理委託の次期契約を 締結しました ～北部汚泥資源化センター包括的管理委託～

横浜市環境創造局の下水道施設では、民間企業の維持管理に関するノウハウを活用し、業務の効率化、コスト縮減等を図るため、北部汚泥資源化センター、南部汚泥資源化センター及び金沢水再生センター前処理施設で、「包括的管理委託※」を導入しています。

このたび、令和5年度からの6年間の北部汚泥資源化センターにおける包括的管理委託の契約を10月31日に締結しました。落札者選定にあたっては、「横浜市下水道事業経営研究会下水道施設の包括的管理委託検討部会」（裏面参照）において業務提案書を審査しました。

※ 包括的管理委託とは、従来の詳細な仕様書に基づく委託ではなく、一定の要求水準を満足できれば、運転管理や維持管理の詳細については民間企業の裁量に任せる性能発注による委託方式です。

1 委託名

北部汚泥資源化センター包括的管理委託

2 履行期間

令和5年4月1日から令和11年3月31日まで（6年間）

3 落札者

JFE環境サービス株式会社

4 入札価格

72億3,600万円(税抜)



詳細については、横浜市環境創造局ホームページをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/nyusatsu/kakukukyoku/2022/itaku/kankyo/>



お問合せ先

環境創造局下水道施設管理課長 大橋 洋明 Tel 045-671-3573

裏面あり

【 参考 】

1 事業概要

北部汚泥資源化センターでは、平成20年4月1日から包括的管理委託による運営を実施しています。令和4年度で現契約の6年間の履行期間満了を迎えるため、令和5年度からの包括的管理委託の新たな契約を締結しました。

包括的管理委託とは、運転管理や維持管理の詳細については民間企業の裁量に任せる性能発注による委託方式で、運転管理業務に加え、通常では公共側が個別に発注している点検や清掃などの業務、物品等の調達及び軽微な修繕など幅広い維持管理業務が含まれています。包括的管理委託の採用により、民間企業の運転管理のノウハウの活用による業務の効率化、コスト縮減、公共人件費の削減などを図ることができます。

2 落札者選定方法

価格だけではなく事業者の技術力も踏まえ総合的に勘案して評価するため、「総合評価一般競争入札方式」により落札者を選定しました。

3 横浜市下水道事業経営研究会下水道施設の包括的管理委託検討部会

落札者の選定に当たり、公平性に配慮するため、学識経験者等で構成される「横浜市下水道事業経営研究会下水道施設の包括的管理委託検討部会」を設置しました。構成委員は、次のとおりです。

| | | |
|---------|-------|--------------------------|
| 部 会 長 | 長岡 裕 | 東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科 教授 |
| 委 員 | 伊集 守直 | 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 教授 |
| 委 員 | 加藤 裕之 | 東京大学大学院工学系研究科 特任准教授 |
| 専 門 委 員 | 池田 陽子 | 明大昭平・法律事務所 弁護士 |
| 専 門 委 員 | 鈴木 智子 | 鈴木智子公認会計士事務所 公認会計士・税理士 |

4 落札者選定の経緯

本事業における落札者選定の主な経緯は次のとおりです。

| | |
|-------------|---|
| 令和4年 1月19日 | 第5回下水道施設の包括的管理委託検討部会（現委託の評価等） |
| 令和4年 2月14日 | 第6回下水道施設の包括的管理委託検討部会（入札参加資格要件・落札者決定基準の審議） |
| 令和4年 5月10日 | 調達公告 |
| 令和4年 7月26日 | 入札書類受付 |
| 令和4年 8月23日 | 第7回下水道施設の包括的管理委託検討部会（提案書に関する審議） |
| 令和4年 9月27日 | 第8回下水道施設の包括的管理委託検討部会（落札候補者の決定） |
| 令和4年 10月12日 | 落札者の決定（環境創造局第一業者選定委員会） |
| 令和4年 10月31日 | 契約締結 |

5 落札者の概要

本事業の落札者は次のとおりです。

| | |
|-------|--------------------|
| 委 託 名 | 北部汚泥資源化センター包括的管理委託 |
| 落 札 者 | J F E環境サービス株式会社 |
| 所 在 地 | 横浜市鶴見区弁天町3番地 |